

優秀論文紹介

2016年度に修了されました14期生の中から
“Best Paper Award”及び“Best Business Plan Award”を
受賞された方々をご紹介します。

Best Paper Award / ビジネスリサーチ



榎 寿憲さん【14期生】

甲州ワインにおけるイノベーションのプロセスと普及に関する研究

ワインの味わいを変えたシュール・リー製法と香りを変えた甲州さいる香を事例に

論文内容

本稿は、日本のワイン発祥の地でありながら、土産程度のワインしか造れなかった山梨県が、日本固有の品種「甲州」をコア・コンピタンスとして世界のワイン市場に躍進した要因を分析し、日本のワイン産業を発展させる為の政策変数を示唆している。

そして、甲州ワインにおけるイノベーションの本質とこれを実現した要因を探る為に、転換の分岐点である1980年代前後に着目し、その背後に存在した一連の存在とイノベーションに関わる相互作用をSECIモデルから解明している。

論文作成時の苦労話やアドバイス

論文執筆に必要なデータを得る為に、山梨県内のワイナリーや山梨大学大学院ワイン科学研究センター等に直接インタビューを行ったが、当初はインタビュー調査を実施した時期が、ワイナリーの繁忙期直前と重なり承諾を得る事に、とにかく苦労した事。

そして、諦めかけた最後の最後で重要人物に辿り着けた事が論文を完成に導き、他人が自分の論文に興味を持ってもらう事を意識して執筆しました。



押山 元子さん【14期生】

長期存続の伝統工芸企業の戦略実践プロセス

学習参加要因を視点とした正統的周辺参加の実証研究

論文内容

企業が長期存続を実践するための戦略を「実践としての戦略研究」の場における学習の観点からインタビュー調査によるディスコース分析により検証を行った。結果として、正統的周辺参加の場における組織学習によって生まれる経営者と職人の相互作用が、継続のための戦略構築に影響を与えることを明らかにした。また、日常の人々の活動が継続に有効な成果へ繋がる可能性と重要性をもつことを確認し、伝統工芸企業の長期継続に影響を与える要因となる因子を示した。

論文作成時の苦労話やアドバイス

論文で何を明らかにしたいのかという初心を大切に進めました。先行研究リサーチを広げてからテーマに魅力的な研究に絞り、適切な分析方法を検証するのに時間を費やしました。早めに分析を始めることで足りない部分を再調査することが出来ましたが、理論と齟齬のないよう全体のプロセスと組み立てに最後まで格闘しました。何を目的とし、何を解明し、どのように役立てたいのかを自問自答しながら迷走しつつ先生と仲間と共に学ぶことが、モチベーションアップに繋がると思います。



池田 慶子さん【14期生】

ヘルスケアシステムのパラダイムシフト

看護師によるコミュニティヘルスケアモデルの提案

論文内容

生活習慣病関連疾患の蔓延と医療費の増加は社会的問題である。しかしながら現状の日本の医療制度は疾患に陥らないための予防的システムは含まない。そこで、本論では、医療機関、医療保険に留まらず、地域や企業組織といったコミュニティの健康維持を図り、そのビジネスモデルを推進できる人材として臨床経験のある看護人材を取り上げ、モチベーションを維持しながら健康維持へ貢献するためのコアコンピテンシーの創出と、実現に向けてのモデル提案を行った。

論文作成時の苦労話やアドバイス

筆者のエゴや、個人的な価値観を極力排除し、客観的視点で分析することが実現可能なものに繋がると考え、様々な医療従事者にインタビューを行いました。また、現在のシステムができるに至った背景や、他国との比較で、日本人独特の文化や価値観を感じ、良い面を大切に尊重し、新たな流れを作れるように配慮しました。新規性のあるアイデアが、現場思いの環境に馴染むものであった時に、受け入れられる面白さにも繋がるのかなと考えています。悩んだ時は、ぜひ様々な人の意見を聞きに行ってみてください。



外山 孝平さん【14期生】

新たな知識の探索への資源配分を促進する要因の研究

既存大企業のイノベーターとしての可能性の模索

論文内容

既存大企業における新たな技術の獲得やマーケットの開拓、新商品の開発など新しい分野の活動への資源配分を促進するためには、どのような要因が影響しているのか。また、そこにはメンバーのどのような認識が影響しているのかというリサーチクエストに対し仮説を立てて実証研究しました。その結果、メンバーの「既存事業に対する危機感」「企業ミッションの理解度」「自律性」といった認識が企業の新しい知識の探索への資源配分を促進している可能性が示唆されました。

論文作成時の苦労話やアドバイス

論文執筆で苦労したのは、「テーマの絞り込み」と「先行研究探し」の2つです。そこを乗り越えて形にできたのは、指導教員の宮下先生の「とにかくやってみる」という言葉がきっかけでした。非効率かもしれませんが、少しでも気になった先行研究はとにかく読んで、その要旨を書き出すようにしていたらおのずとテーマが絞られてきました。

行き詰ったら、下手でもよいので自分の考えを「書いてみる」ことで頭の中が整理されて方向性が見えてくるかもしれません。



稲葉 元一郎さん【14期生】

乱戦多数のリフォーム業界における競争戦略の研究

論文内容

リフォーム業界の分析とモデル企業8社を対象にした事例研究を通して、住宅関連会社の競争戦略を明らかにしました。リフォーム業界について5forces及びPEST分析をして、3つの基本戦略について述べて、仮説を設定し、モデル企業のヒアリングにより、実証するという構成です。明確な理念を持ち、高い断熱・耐震性能、豊富な建築知識を活かした設計力、デザイン力といった付加価値を持ち、高単価リフォームに特化して、整合性のあるビジネスモデルを構築することにより、活路を見出せることが実証されました。

論文作成時の苦労話やアドバイス

田中先生から教わったWHYとスケジュールの2つが、改めて大切だと思います。なぜその論文を書くのか。私の場合は「リフォーム業界において住宅会社が活路を見出すための戦略を提言したい」という思いが強くありました。また、祖父が論文を書いており、自らの取り組みを論文として残すことに特別な思いがありました。

スケジュールとしてはお盆前までに事例収集、分析を終えて、お盆中に2万字書き、秋を迎えました。実証論文としてかたちにすることは苦労しましたが、ゼミの中で指導して頂き、完成できました。

Best Business Plan Award / ビジネスデザイン



内田 緒織さん【14期生】

産婦人科病院における少子化対策への新たなビジネスモデル

論文内容

少子化の進行には様々な要因が複雑に絡み合っている。出産の現場である産婦人科病院として、妊娠・出産・子育てとかわる中で、父親・母親の自覚を促すためのモデルを考えた。一つは病院退院後2泊3日、父親と母親と新生児の3人で宿泊し、育児や家事のトレーニングを行い安心して自宅へ帰るための準備施設。もう一つは子育て中の孤立感や負担感を軽減するため、上記3人を対象とした保育士が滞在する年中無休の会員制サロンを提供するプランを提案した。

論文作成時の苦労話やアドバイス

社会的な背景などプランの必要性を証明できるように準備した。また対象となりうる母親507名にアンケートを行い、実際のニーズを確認し、それに沿ったプランを作った。ゼミに参加し野崎先生、山中先生から多くのご指導をいただき、またゼミの仲間からの質問などは大変参考になった。審査会では、スライドの色や文字の大きさなどに注意し、分かりやすく見やすい物になるよう気を付けた。プレゼンテーションも時間内に的確に話せるよう練習したが、本番では結論から話すよう注意を受けてしまった。



木村 和貴さん【14期生】

ウェディングコンテンツ配信プラットフォーム事業「360Wedding」

WEDTECH産業の創出

論文内容

「360Wedding」はウェディングコンテンツをWEB/アプリで配信するプラットフォームである。これまで、非常に特別な日でありながら限定的に消費されていたウェディングコンテンツだが、デジタルテクノロジーを活用することで招待できなかった人とも共有できるようになり、より幸せが広がる社会を創出することができる。コンテンツの共有方法としては、360度のVR動画などを活用し、ライブ配信及び事後配信を行う。加えて、オンラインご祝儀・オンライン引き出物などの新たなマーケットも創出する。

論文作成時の苦労話やアドバイス

ビジネスプランを考える際に新規性と実現性の双方を抑えることが求められます。既存のサービスの類似したものであれば、プランとしての魅力をあまり感じませんし、面白いプランでも実現性がなければそれもアウトです。世にないサービスであれば、なぜ今そのサービスがないか、の理由を突き詰めて一つひとつを解決していく必要があります。その点では、新たなテクノロジーを活用したサービスは、これまでは技術がなかったため、と明確な理由があるのでやりやすいです。苦労した点では、どれだけ根拠で支えられるか、という点です。ビジネスプランは未来の話なので、いかに経験値やアンケート、市場データなどからニーズを説明できるかが鍵になります。